

令和5年度 第3回住民自治協議会連絡会 議事概要

1. 日時：2023年（令和5年）11月24日（金）10：00～11：40

2. 場所：市役所5階第2会議室

3. 参加者：沼間小学校区地域連合会（住民自治協議会）（江連）

池子小学校区住民自治協議会（田宮、鈴木、中川、齋藤）

久木小学校区住民自治協議会（山崎、石井、龍村）

小坪小学校区住民自治協議会（豊角、吉田、原田）

※敬称略

地域担当職員リーダー（須田透環境都市部次長、福本修司経営企画部次長、雲林隆継教育部次長、山田悟史総務部次長、廣末治福祉部次長）

市民協働部（岩佐正朗部長、新倉良枝市民協働課長、西久美子市民協働係長、今野仁介市民協働課主事（議事録作成者））

4. 議事

1. 各住民自治協議会の活動に関する意見交換
2. その他

5. 資料

1. 令和6年度地域づくり交付金関連資料

議事1 「各住民自治協議会の活動に関する意見交換」について

● 逗子小学校区の地域担当リーダーについて、新たに福本修司経営企画部担当部長（経営企画部次長）が就任する旨の説明を行った。

（新倉良枝市民協働課長）

・各住民協の近況についてお話いただきたい。

【沼間小学校区地域連合会】

・コロナの落ち着きとともに、夏祭り等のイベントが再開され始めた。沼間、桜山地区の体育祭も3年ぶりに開催され、住民協としても関わりを深めている。特に桜山地区の体育祭においては競技の運営等にも積極的に携わることができた。

・以前お話した竹部について、沼間地区のみならず逗子全域で活発に活動しているとのことで、引き続き環境部会にも関わってもらっている。

・年度内に臨時会をもって会則の改正を検討している。ここ5年間で変更がなく、実状と異なっている部分の変更を行う予定である。

【意見概要】

(池子)

- ・会則について、具体的にどのような変更を考えているか。

(沼間)

・市の要綱との整合性を意識し、今まで抜けていた地域づくり事業に取り組むという趣旨の文言、会費の徴収の実施に関する項目等の追加を検討している。変更の内容が決まったら、他の住民協に対しても参考に情報共有が出来ればと考えている。

(小坪)

- ・竹部について、住民協としてどのように団体を受け入れて活動してもらっているのか。

(沼間)

・環境部会の活動の1つとして位置付ける形となっている。具体的な団体へのサポートについて、住民協で管理する倉庫の貸出し、活動場所のサポート等を行っている。

(小坪)

・市への確認となるが、1つの団体が複数の住民協と協力して、各地域で個別に事業を行う場合、それぞれの住民協が地域づくり交付金のメニューに当該事業を組み込んで予算を申請することは可能か。

(岩佐正朗市民協働部長)

・可能である。事情に応じて、地域づくり交付金のうち、該当する事業経費に位置付けたいうえで、それぞれの住民協から申請いただきたい。

【小坪住民協】

・小坪も沼間と同様にコロナの落ち着きとともにイベントの開催が増えてきた。

・リビエラ逗子マリーナが10月29日に実施したハロウィンパレードについて、住民協、小坪漁業協同組合をはじめとする諸団体等と協力して運営が行われ、300人強の参加があった。

・11月11日の小坪小学校まつりについて、住民協も参加し、地域の子どもとレクリエーションを行った。

・11月18日の小坪うみかぜテラスは強風のため中止となった。42店舗参加予定だった中で前回は好評の声が多くあったため非常に残念である。今年度中に再度計画出来ればと考えている。

・市からプレスリリースもされたが、小坪漁師タクシー（海上タクシー）の実証実験の実施があった。

・小坪川（どんどん川）について、住民協として川清掃の協力を行っている。現在は鴨が生息している様子が見られるが、昔は綺麗な川であったため、蛍が住めるくらいに環境を改善したいという目標がある。活動の呼びかけが若手主体の団体であることもあり、ぜひ協力したいと考えている。

【意見概要】

(久木)

・小坪川の清掃について、実状としては、住民協が自治会で行っている活動に関わっているということか。

(小坪)

・今回は自治会単位ではなく団体が主体となって活動している形態のため、情報発信（団体で作ったチラシ等）や現場での協力を行っている。主催者も地域の人と一緒に綺麗にしたいという思いが強くあり、市の環境都市部にも協力をお願いしている。また、小坪小学校の前であるため、小坪小学校 PTA にも活動の働きかけを行っている。

【池子住民協】

・空き家活用事業である「池子やまとしょしつ」が正式にオープンした。子ども達に地域で本に親しんで欲しいという思いから始まったプロジェクトであり、開設準備、片付け等にも大変苦労したが、市の制度を使って地域の思いを実現することができたという意味で、1つの大きな成果だと実感している。

・池子の3大まつりである夏祭り、健康祭り、池子やま文化祭に対しても、住民協としてイベントをサポートする形で関わる事が出来ている。また、池小キッズサポーターと関わる中で小学校と関係を深めることができおり、池子地区におけるイベント等について、後方支援を行うという住民協の立ち位置を確立しつつある状況であると感じる。

・会員や地域住民からも住民協の役割が理解されてきていると感じるが、その一方で、毎年のことではあるが、年度で役員が交代してしまうことは負担に感じてしまい辛いところである。

・広報ずし 12月号に「わんわんパトロール」の記事が掲載されるので、活動の状況をぜひご覧いただきたい。

【意見概要】

(久木)

・一連のお話を聞いているが、住民協と地域との関わり方が素晴らしいと感じる。

(池子)

・その一方で、空き家の活用について、広報ずしを含めて良い側面ばかり注目されてしまうが、大変なことも多いのだと身をもって感じている。事業実施の費用、子どもの見守り役の手配、市の制度に定められたルールの順守等、様々な部分に目を配らなくてはならない。例えば、見守り役には一部謝金の支払いを可能にするというような柔軟な考え方が必要なのではないかと思っている。

(岩佐正朗市民協働部長)

・地域づくり交付金については、小坪住民協からも既にご意見をいただいているが、市、住民協ともに様々状況が変化してきているなかで、ご要望も受け止めたうえで、1度そのあり方について整理が必要だと考えている。

(池子)

- ・現在は主体的に図書室の見守り役を行ってくれている親であっても、数年後には自身の子どもの小学校卒業に伴って状況も変わってくるため、今の内から後継者づくりが必要である。その他にも課題は多くあるため、引き続き市に相談を行っていききたい。
- ・当該空き家は子どものための図書室の他、ズシップの活動拠点としても使用されている。

【久木住民協】

- ・11月23日に久木小学校PTAと協力し、拡大版久木朝市を開催した。通常の出店に加え、PTAからも出店があり、合計36店舗ほどのお店が並んでいた。また、先生や児童による音楽活動の催しも行われ大変盛況な状況であった。
- ・ハイランド地区の桜並木について、環境都市部によって新たに桜の木が10本程度植樹されることとなった。
- ・以前から民間会社により実施されていたハイランド地域住民向けの買い物支援について、10月より再開され、毎週金曜日に支援バスが運行することとなった。このサービスは住民に家から外出してもらい、自身の手で品物を選んでもらうことを1つの目的としており、坂道の多い帰途についてはバスで帰れるようサポートを行うものである。民間バスの事情と同様で、運転手の確保がネックとなっていると聞いている。
- ・広報ずしにみんなのカフェ（第4金曜日に開催）の記事が掲載されるためご覧いただきたい。
- ・11月26日に防災訓練を実施する予定である。訓練の実施を通じて、災害避難体制の構築につなげることが重要だと考えている。以前から言っているとおり、特に在宅避難者の安否確認の体制には不安を感じているため、通常の避難訓練に加えて、在宅避難者の安否確認を行う。訓練当日は市の地区防災拠点の担当者の参加もあり、意味のあるものにしたと考えている。当日は様々な問題もあると思うが、情報をどれだけ早く正確に提供出来るかに注視し、包括的な体制を構築できればと考えている。
- ・住民協ひろば特別号は2月に発行予定であり、防災に焦点をあてて記事を作成していききたい。

【意見概要】

(小坪)

- ・安否確認の手法について、ウェブ上でフォーム等用いた実施となるのか。

(久木)

- ・災害直後においてはデジタル手法を用いず、向こう三軒両隣での情報を集約するアナログ的手法を想定している。デジタル手法の出番は災害から3日経過後にネットで各自の状況を入力してもらうようなイメージである。

(小坪)

- ・亀ヶ岡地域でも安否確認の訓練を行っており、約66%程度の参加率となっている。現状はアナログ的な確認手法を採っているが、デジタル手法の導入も必要だと考えている。

(久木)

・デジタル手法が合理化を図るうえでは重要である一方で、要支援者の中にはデジタルに弱い人等もいる中での総合的な判断が必要だと感じている。災害直後の初動はアナログ手法を用いて、3日経過した辺りからはデジタル手法も導入というのが現実的かもしれない。

(小坪)

・前回の訓練では班長を中心に対面での安否確認を実施しているため、様々な手法の検討が必要と感じた。

(久木)

・向こう三軒両隣という考え方は重要で、周辺の相互確認の結果を班長に報告する形式も考えられる。また、地域性、地形等に左右される部分もあり、久木区域においても久木、山の根、ハイランドで様々な特性があるので、その地区にあった手法を考えなくてはならない。

(新倉良枝市民協働課長)

・住民協には防災の部分でも地域をリードして欲しいという思いもあるため、久木地区をモデルとして、他の住民協にもその考え方や手法について、横展開をしていただければと考えている。次回の連絡会等で共有をお願いしたい。

議事2 その他

●スズキヤの移動スーパーについて

(小坪)

・以前に連絡会で説明のあった移動スーパーの進捗はどの程度か。

(新倉良枝市民協働課長)

・詳細な情報は承知していないが、来年1月から実施予定と聞いている。状況が分かり次第、今後各リーダーを通じて各住民協にも情報を共有させていただきたい。

(池子)

・市はこのサービスについてどのような関わり方をしているのか。

(廣末治福祉部次長)

・始めにスズキヤから移動スーパーについて、ニーズが高い地域等についての相談があり、社会福祉課地域共生係がその窓口となっているところである。

(岩佐正朗市民協働部長)

・大前提として、本案件は民間のサービス（事業）である。市の立場としては、地域が抱えている課題と、事業のゴールに共通点があった際、市が協力できる部分において、そのフォローやつなぎ役を担えればと考えている。

(小坪)

・市の立場は理解した。市、地域、スズキヤにもメリットがある話だと思うので、ぜひ上手く進めてもらいたい。地域のニーズはどのように伝えればいいか。

(廣末治福祉部次長)

・ニーズ等のお話は直接スズキヤに伝えていただきたい。

(久木)

・本案件に商業的側面があり、話のあった市の立場も重々承知しているが、市にはしっかり間に入ってもらい地域のニーズを伝えてもらいたいと感じる。

●逗子駅前の交番について

(小坪)

・逗子駅前の交番が12月に完成すると聞いているが、他に情報はるか。

(福本修司経営企画部次長)

・情報共有いただいている部分もあるが、正式な話は警察より発表があると聞いている。また、逗子駅前の交番の再開にあたって、新逗子駅前交番（清水橋側）は統合廃止となり、統合後の治安対策として、神奈川県警独自の取り組みであるアクティブ交番の運用がスタートするとのことである。

●令和6年度地域づくり交付金について

⇒令和6年度地域づくり交付金については、配布資料のとおりで、12月中旬頃までに申請書の提出をお願いしたい（データはメールで送付実施）。新規追加部分（防災マップの活用促進事業）については、福本修司経営企画部次長より説明が行われた。

(福本修司経営企画部次長)

・各住民協において防災マップを作成・配布いただいたことで、一定効果があることは承知しているが、さらに活かしてもらいたいという趣旨で交付金メニューへの追加を実施した。キャンペーンを行う、学び合いの場を設ける等様々な方法があると思うので検討いただきたい。また、副次的効果として、本事業の実施を通じ、次期マップの作製の際に参考となる情報が住民から寄せられることも考えられる。

(久木)

・活用の具体的なイメージを教えてください。

(福本修司経営企画部次長)

・具体的な手法について、明確な答えがはっきりとあるわけではないので、地域の実情に応じて考えていただきたい。例えば、小坪では我が家の防災マップとして欲しいという考えで作った経緯があり、配布時は見るけれども、すぐに収納されてしまうことを防ぎたいという思いがある。

(小坪)

・過去にマップを活用して逃げ地図づくりワークショップを行い、逃げ場所がないという発見等もあったので、色々手法を検討できればと思う。

(久木)

・マップを用いて事業が多く出来ると理解したので、前向きに受け止めたい。

(小坪)

・以前の連絡会で、住民協の広報活動を行う際に用いるソフトのサブスクリプション費用等を交付金のメニューとして欲しい旨を伝えたが、状況はいかがか。

(岩佐正朗市民協働部長)

・広報活動において、そういったソフトの必要性が増してきていることも承知している。今後、要望を集約し交付金メニューの見直しを行っていきたい。

●令和6年度一般コミュニティ助成事業の申請状況について

(新倉良枝市民協働課長)

・ご提出いただいた申請書類は神奈川県審査を経て、財団側へ送付された。今回はコロナの状況も落ち着きコミュニティ活動が再開したことに伴い、県下の各市町からの申請件数も増えたと聞いている。また、会費を徴収する団体でないと助成対象とならない旨の話もあった。今後財団から採択状況の連絡があり次第、情報共有を行う。

●事務局より

(新倉良枝市民協働課長)

・以前の連絡会でご意見があったが、次回連絡会の会議形式について、住民協側からご参加の皆さまが主体となって会議を運営いただく形で試行的に実施するのはいかがか(市側参加者は、市民協働課のみが後ろに控える形を想定)。

⇒参加者から異議なし

・お話したとおりの形式で開催させていただく。次回は1月26日(金)10時から開催予定となっており、詳細等は後日お知らせする。